

## 令和4年度入学式校長式辞

春爛漫の言葉の通り、木々に緑が映え、様々な花が咲き、光溢れる季節を迎えました。このすべての命が輝く今日の佳き日に、神戸市教育委員会 教育委員 梶木典子様始め、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和4年度神戸市立摩耶兵庫高等学校入学式を挙行できますことは、私ども教職員一同、この上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

新入生118名の皆さん、入学おめでとうございます。教職員、在校生一同、皆さんの入学を祝福するとともに、心から歓迎いたします。また、保護者の皆様には、今日の晴れやかな日を迎え、お喜びもひとしおのことと存じます。ご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

本校は、昼間部と夜間部からなる定時制高校であり、昼間部が設置されて13年目となります。今年度より募集定員が変更となり、皆さんは、夜間部より昼間部の入学生が多い初めての学年となりました。数年前までは、昼間部・夜間部別々に実施されていた学校行事ですが、現在は、ほぼすべての行事を、昼間部・夜間部合同で行っています。これらは、学校としての一体感やエネルギーを高め、授業を中心とした落ち着いた学校生活、さらには、生徒の学校生活満足度や進学実績の上昇につながっています。

昨年度、時代の変化や地域社会のニーズに応え、これまでの本校の取組をさらに発展させるため、目指す学校像や育成したい生徒像等を、全職員で再考しました。その基本となる考え方、学校コンセプトが「豊かな人間性と生き方の創造」です。様々な学びや人との関わりによって豊かな人間性や社会性を身に付け、自分の生き方を主体的に考え切り拓いていく、そのような力の育成を目指して、4年間の学校教育活動を行ってまいります。

生徒の皆さんには、高校生活をスタートするにあたり、心掛けてほしいことが三つあります。一つ目は、様々なことにチャレンジすることです。基礎学力をつけ自分で考えること、学ぶことの楽しさを知ってほしいと思います。本校では、多くの生徒が、放課後にキャリアセンターで勉強しています。部活動や委員会活動、生徒会活動、学校行事にも積極的に挑戦し、可能性を広げてください。二つ目は、チャレンジしてうまくいかずに、落ち込んだり、心が折れそうになったときに、回復する力をつけましょう。この力をレジリエンスと言います。先生や家族、友人などに相談するなどして回復し、また、新たに挑戦していく。これが、皆さんにとって今一番必要な力かもしれません。挑戦する強さと柔軟性、すなわちレジリエンスを大きく育ててください。三つ目は、人への感謝と、思いやりの心を持ち、人とのつながりを大切にしましょう。思いやりに満ちた言葉や行動は、次の思いやりにつながり、その輪は広がっていきます。人は一人で生きているのではなく、多くの人に支えられて生きています。「ありがとう」と人への感謝の心を持ち、感謝される人になってほしいと思います。

保護者の皆様、私たち教職員は、生徒の皆さんが持てる力を十分に発揮できるよう、全力で支援してまいります。保護者の皆様におかれましても、本校の教育方針を十分にご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

それでは、新入生の皆さん、心身ともに健康で、明るく前を向き、新しい人生の1ページと一緒に作っていきましょう。皆さんの成長を心から楽しみにしています。

これを持ちまして、入学式の式辞とさせていただきます。

令和四年四月十一日

神戸市立摩耶兵庫高等学校 校長 渡邊 孝子